

■目標

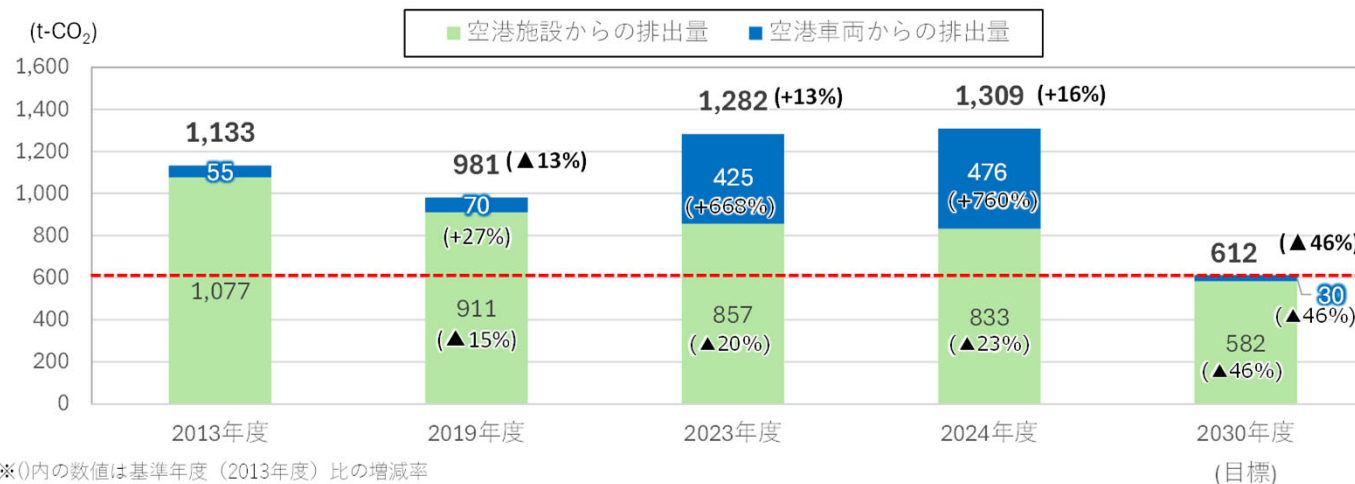
2030年度 CO₂排出量 2013年度比 46%削減

2050年度 カーボンニュートラル

■取組状況

- **空港の施設**：航空灯火LED化により、CO₂排出量は推定3t-CO₂/年削減。(2013年度比0.3%相当)
- **空港車両**：EV化は2027年度以降に実施予定。

区分	CO ₂ 排出量【t-CO ₂ /年】				
	2013年度	2019年度	2023年度	2024年度	2030年度 (目標)
空港の施設からの排出量	1,077	911	857	833	582
空港車両からの排出量	55	70	425	476	30
計	1,133	981	1,282	1,309	612



2030年度目標値

※稚内空港脱炭素化推進協議会構成員からの報告を元に作成

■CO₂排出量の増加理由

- 冬期に大雪があり、大型の除雪車両の稼働が増えたことで、空港車両からのCO₂排出量が増加。
- 空港の施設からのCO₂排出量は近年はほぼ横這いで推移。電力排出係数の増減が影響しているが、施設照明LED化によるCO₂排出量の削減効果もあったと考えられる。